

# 平成 30 年度 第 3 回 学校運営協議会報告

【日 時】 平成 31 年 2 月 26 日（火） 14 時～16 時

## 【出席者】

学校協議会委員：岩井 英雅（元府立学校准校長）

松下 孝雄（北水会） 巽 順子（地域住民）

水野 洋子（PTA 定時制委員会委員長）

高崎 美和（PTA 定時制委員会副委員長）

准 校 長：浅川 又一

事 務 局：伊藤 牧子（教頭）

北村 陽子（首席・養護教諭）

山中 健（教務主任）

庄司 樹生（生徒指導主事）

中村 久子（進路指導主事）

藤村 幸博（保健主事・教育相談委員長・  
支援教育コーディネーター・フォローアップコーディネーター）

田代 興太郎（4 学年主任） 和氣 裕祐（3 学年主任）

西本 裕幸（2 学年主任） 沼田 慎也（1 学年主任）

## 1 開会

## 2 会長挨拶

## 3 准校長挨拶

## 4 協議

学校運営協議委員より提言

### ① 平成 30 年度学校教育自己診断と検討結果について

### ② 第 2 回授業アンケート結果についての提言

### ③ 平成 30 年度学校経営計画及び自己評価についての提言

- ・学校教育自己診断、授業アンケート等は、少数の保護者の意見が反映されている。保護者が学区にいかに関わるかが大事である。あいさつ等も学校だけに任せてはいけない。
- ・保護者と子供のトラブルについて、学校・警察・地域の関係機関と連携することが重要であり、学校はよくできている。また、モンスターペアレントを作らないようにしてほしい。
- ・中学時代に課題を持って入学してきた生徒に対して、個別に対応がしっかりできており、課題を解決できた生徒が多いように思う。
- ・就職する生徒が多いため、進路ガイダンスが大事である。また、アルバイトの先の紹介を学校がしてくれているのが保護者としては非常に助かっている。

- ・3年間・4年間の卒業に向けて、生徒の皆さんが社会で生きていくための最低限のこと学んで卒業してほしい。例えば、税金や年金等のこと。

- ・働き方改革において、先生の仕事が多様化しすぎているため多忙すぎる。先生方の体が心配である。

④ 平成31年度学校経営計画及び自己評価についての提言

- ・全体的に目標数値が上昇するように頑張ってもらいたい。

- ・行事予定で「授業参観日」という名称にすると、子供に来てほしくないといわれたりするるので名称を変えてもらいたい。

⑤ 各種委員会からについての提言

1、人権推進委員会 2、教育相談委員会 3、中途退学防止

- ・人権教育は、生きていくうえでの根幹である。しっかり計画立てて実施できている。

- ・来年度に向けても引き続きしっかり取り組んでほしい。

- ・中途退学者が少しずつ減っている。教育相談委員会をはじめ、各先生方の日々の生徒との関わりが大きい。